

平成28年1月27日
四国電力株式会社

平成27年度業績予想ならびに期末配当予想の公表について

当社は、これまで、伊方発電所3号機の再稼働時期を見通すことが困難であることなどから、平成27年度業績予想について、売上高予想のみ公表し、損益予想については未定としていました。

現在、伊方発電所3号機の早期再稼働に向けて鋭意努力を続けていますが、当期中に再稼働できない見通しとなったことから、売上高予想の修正と損益予想を公表いたします。

また、平成27年度期末配当予想についても、これまで未定としておりましたが、今回の業績予想を踏まえ、公表いたします。

平成27年度 連結業績予想数値 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：億円)

	今回公表
売上高	6,600
営業利益	225
経常利益	200
親会社株主に帰属する純利益	120
1株当たり純利益	58円

平成27年度 配当

	1株当たり配当金		
	中間配当	期末配当(予想)	合計
今回	0円	20円	20円
(参考)26年度実績	0円	20円	20円

以上

<通期業績予想の前年度比較>

1. 電力需要

電灯電力需要は、節電・省エネの影響等から、前年度に比べ 1.3%減の 260 億 kWh 程度、また、総販売電力量は、融通等が増加することから、前年度に比べ 1.0%増の 278 億 kWh 程度と想定しています。

(単位：億 kWh、%)

	26年度実績 (A)	27年度予想 (B)	比較	
			前年差(B - A)	伸び率
電 灯	92.4	90.9	1.5	1.6
電 力	171.5	169.5	2.0	1.2
電 灯 電 力 計	263.9	260.4	3.5	1.3
融 通 等	11.6	17.7	6.1	53.1
総 販 売 電 力 量	275.5	278.1	2.6	1.0

2. 業 績

売上高は、電灯電力需要の減少や燃料価格の低下に伴う燃調収入の減少などにより、前年度に比べ約 40 億円 (0.6%) 減収の 6,600 億円と予想しています。

利益については、修繕費の増加などにより、営業利益は約 60 億円減益の 225 億円、経常利益は 45 億円減益の 200 億円と予想しています。一方、親会社株主に帰属する純利益は、法人税率の引下げなどに伴う繰延税金資産の取崩額が少額となることから、約 20 億円増益の 120 億円と予想しています。

(単位：億円、%)

	26年度実績 (A)	27年度予想 (B)	比較	
			前年差(B - A)	伸び率
売 上 高	6,642	6,600	42	0.6
営 業 利 益	289	225	64	22.4
経 常 利 益	245	200	45	18.4
親会社株主に帰属する 純 利 益	103	120	17	16.1

[前提諸元]

原子力設備利用率 (%)	0.0	0.0	-
出 水 率 (%)	114.6	114.1	0.5
石炭 C I F (\$/t)	93	76	17
原油 C I F (\$/b)	90	50	40
為 替 レ ー ト (円/\$)	110	121	11